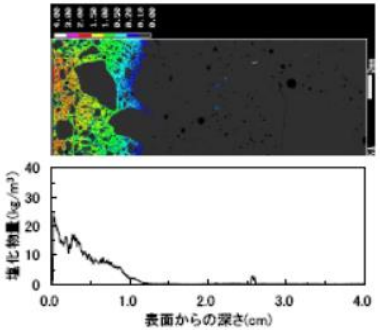
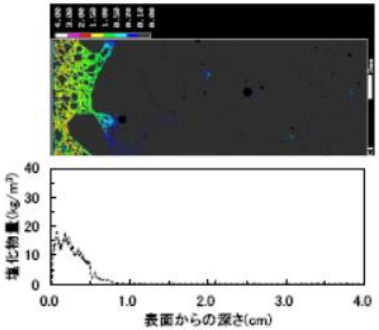
# 火災を受けたPP繊維混入型コンクリートの物質侵入抵抗性の評価

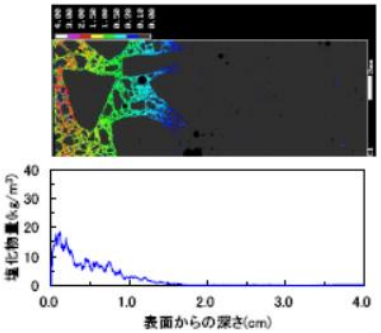
概要：
：火害を受けた合成繊維混入型高強度コンクリートの物質侵入抵抗性の評価を目的として種々の検討を行った．すなわち，①加熱試験と②塩水浸漬試験を行い，EPMA による塩分浸透状況から物質侵入抵抗性の評価を行った．対象供試体は高強度コンクリート（HSC）と，HSC にポリプロピレン（PP）繊維を0.2vol%混入した（HSC+PP）とした．加熱温度は 100℃，200℃，300℃とした．その結果，加熱温度が高くなるにつれ，塩分浸透量は増加し，物質侵入 抵抗性が低くなることが分かった．特に，PP 繊維の溶融に伴い，表面付近の塩分浸透量が増大 することが明らかとなった．



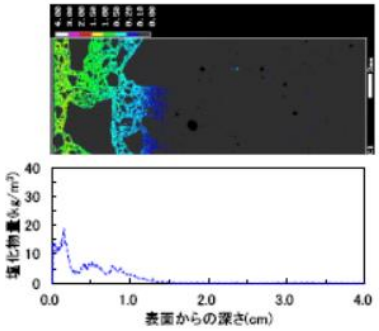

a-1)　HSC：加熱無し



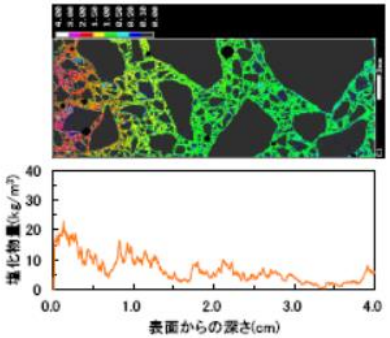

b-1)　HSC+PP：加熱なし



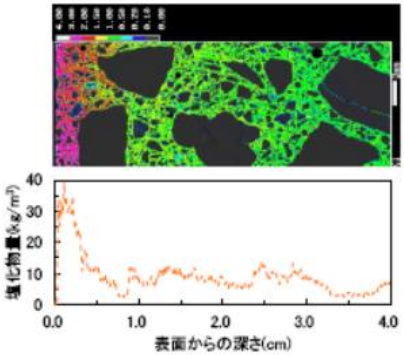

a-2)　HSC：100℃加熱




b-2)　HSC+PP：100℃加熱




a-3)　HSC：300℃加熱




b-3)　HSC+PP：300℃加熱